

# 指定管理者評価票

年度	令和3年度
担当部署	住民部 地域課 交通防犯担当

## 1 公の施設

施設名称	箱根ヶ崎駅自転車等駐車場及び箱根ヶ崎駅東西自由通路	
所在地	瑞穂町大字箱根ヶ崎249番地7外及び385番地2	
施設概要	自転車等駐車場（延床面積2647.91㎡） 東西自由通路（延床面積566㎡） 自転車1,330台 原動機付自転車80台 エレベーター2基 エスカレーター4基 トイレ2箇所	
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成17年度4月1日（導入後17年経過）	

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	瑞穂町商工会			
	所在地	瑞穂町大字石畑1973番地			
指定管理期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の業務内容	1 管理施設の維持及び管理 2 条例第8条の規定による使用手続 3 利用料金の収受 4 利用料金の収受に付随する業務 5 その他町長が必要と認める業務				

## 3 施設の利用状況

利用状況（量）を示す指標名	単位	指定期間中の実績			
		令和2年度	令和3年度		
① 町内在住者（定期利用）	人	205,982	217,058		
② (イ) (ウ)	人	120	110		
③ 町外在住者（定期利用）	人	66,481	65,202		
④ (イ) (ウ)	人	1,315	1,620		
⑤ 一次利用	人	66,769	76,543		

## 4 指定管理者の収支状況

（単位：千円）

		令和2年度	令和3年度		
収入	指定管理料	20,478	20,702		
	利用料金収入	19,065	20,282		
	その他	1,230	1,570		
	計	40,773	42,554		
支出	支出	40,773	42,554		
	うち業務委託料	16,436	16,099		
	うち修繕費	233	492		
	うち人件費	11,195	11,247		

評価ランク	評価内容
良い 5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い 4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通 3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い 2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い 1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

## 5 個別評価

評価項目		評価の着眼点	評価	
			管理者	担当課
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・ 条例で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	5
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	5	5
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。 指定管理料は適正か など	5	4
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・ 町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	5
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・ 利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など 利用者の満足度を得られているか。 ・ 職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	4
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・ 施設の設置目的を達成しているか など	5	4
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・ 事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・ 営業努力の状況は認められるか など	5	4
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・ 経営状況は安定しているか など	5	4	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・ 利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	4
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	4
	積極的な施設の活用	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	3
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	5
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・ 経費の状況は適正か。など	5	5

## 6 指定管理者自己評価、意見等（一年間に活動した内容等）

個別評価	数
5	13
4	0
3	0
2	0
1	0

記入欄

- 令和3年度から駐車可能なバイクの種別を拡大（50cc以下から125cc以下）し定期購入者等の増加を図った。
- 定期利用券の集中販売日（3月）を町広報紙により周知するとともに、先着者には商品券を配布するなど定期利用券の販売を促進した。
- 東西自由通路に自動販売機2機を設置（7月）することにより、サービス向上及び財源確保を図った。
- 券売機（東口2台・西口1台）を新硬貨対応券売機に交換した（3月）。また、その内2台（東口・西口1台ずつ）をキャッシュレス対応機器とし、利用者の利便性向上を図った。
- 箱根ヶ崎駅自転車等駐車場内防犯カメラの適正な管理と定期的な駐輪場内の巡回により、駐輪場不正利用の防止や犯罪の抑止に努めた。
- 清掃員、修繕業者に対して綿密に打ち合わせを実施し、実施報告を厳守させることにより、施設を常に清潔な状態に保ち、町を訪れた人がまた来たいと思えるような環境づくりに努めた。

## 7 担当課の評価、意見等

個別評価	数
5	5
4	7
3	1
2	0
1	0

記入欄

自由通路では、各種広報紙の掲示や作品の展示により、引き続き町や各団体に情報発信の場を提供した。7月には自動販売機を2台設置することにより利用者へのサービス向上及び施設の維持管理のための財源確保を図った。自動販売機の設置（売上げは月6～7万円）は、コロナ禍で減少傾向にある駐輪場利用料収入を補い、次年度の指定管理委託料の抑制につながった。

駐輪場では、キャッシュレス決済対応の券売機を導入し、利用者の利便性向上を図った。住民からキャッシュレス決済対応機器の導入を要望する声もあり、それに応えることも出来た。また、駐輪場管理人についても、親切的な対応や駐輪場内の適切な整理整頓により、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。

今後も適切な管理運営を行う中で、民間ならではのアイデアやフットワークを生かしながら施設を活用した事業展開を行ってほしい。

## 8 指定管理者選定委員会の評価、意見等

記入欄

【主な効果】  
自由通路に自動販売機を2台設置し、利用者へのサービス向上とともに、施設の維持管理のための財源確保を図りました。駐輪場には住民からの要望に応え、キャッシュレス決済対応の券売機を導入し、利用者の利便性向上を図りました。

【主な指摘】  
町の表玄関であり、町内唯一の鉄道駅であることを念頭に、シティプロモーションの視点に基づいた委託業者のノウハウの活用と、今後も施設の利便性の向上に注力し、利用者の増加につなげていくことを期待します。